

漁海況情報

沖縄県水産海洋研究センター

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号
電話 098-994-3593・3597
FAX 098-995-2357

2010年(平成22年)1月 第446号

最新情報提供：沖縄県水産海洋研究センターURL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

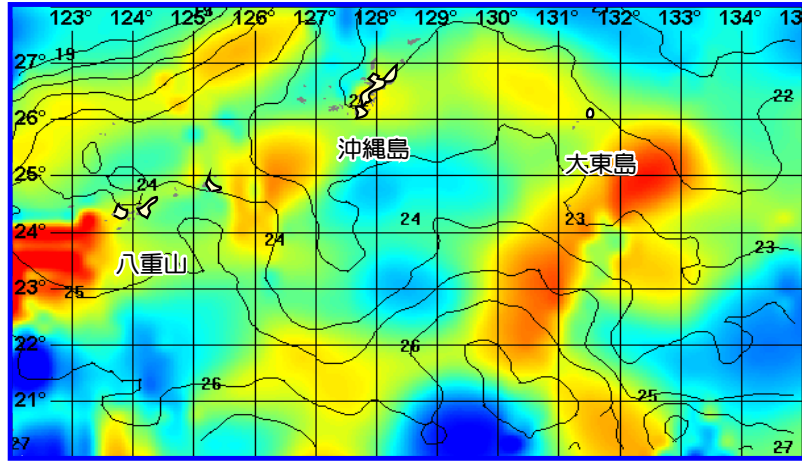
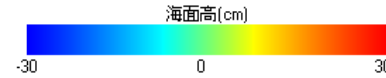


図1. 表面水温分布図(22年2月23日) 資料：東シナ海海況速報(漁業情報サービスセンター)



携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)→

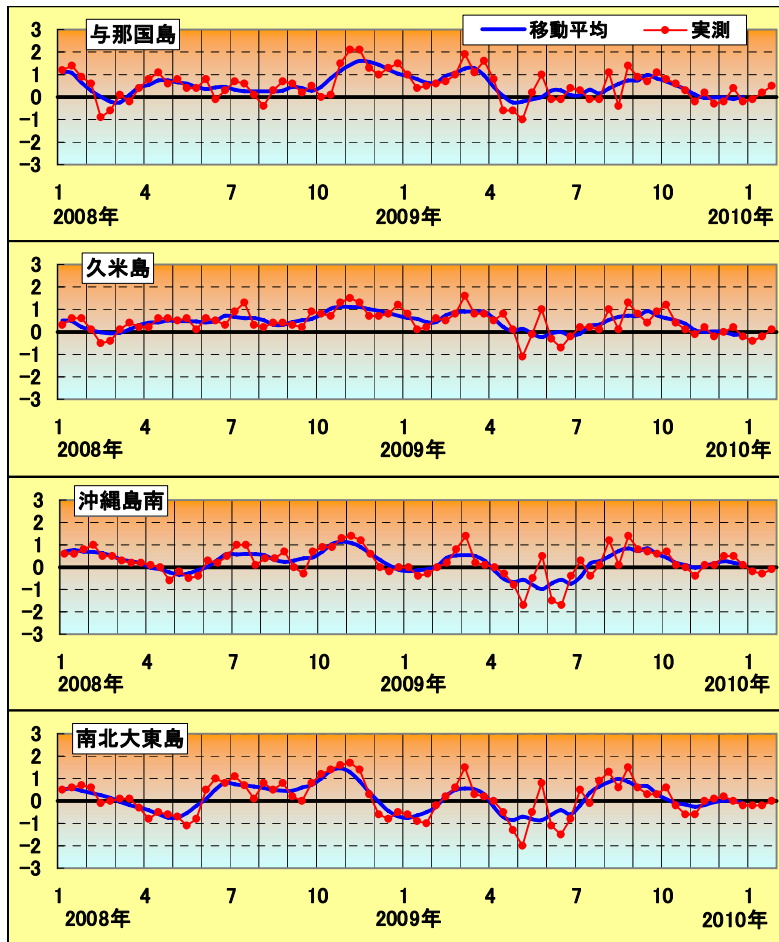
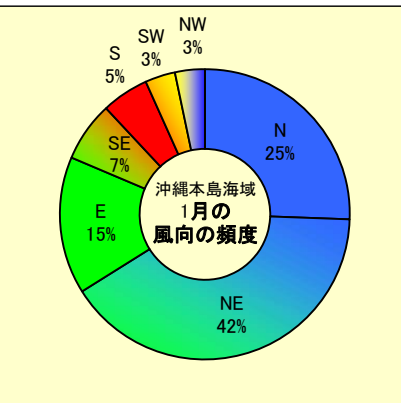


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料：西日本海況旬報(長崎海洋気象台)

表面水温と先月との差	
平成22年2月23日	現在
与那国・八重山	24~25℃ -1~0℃
宮古島	23~25℃ -2~-1℃
久米島	22~23℃ -2~-1℃
沖縄島南	22~23℃ -2~-1℃
南北大東島	22~23℃ -2~-1℃

海況：3月上旬から下旬にかけての東シナ海南部、沖縄南部および東部の海面水温は前半やや高め、後半平年並みで推移する見込み(2月26日：気象庁地球環境・海洋部発表)。一方、北緯26度30分、東経130度付近を中心とする時計回りの渦は徐々に弱まっている模様(2月24日：長崎海洋気象台発表、西日本海区分別海況情報より)



那覇の風向風速予報：1月は、北よりの風が全体の25%、北東よりの風が42%を占めた。また、沖縄本島では風速9m以上の観測日は19日で風の強い日が多かった。(琉球新報天気欄より)

1月の表面水温平年偏差	
与那国	やや高め
久米島	平年並み
沖縄島南	平年並み
大東島	平年並み

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ・シビ、伊良部では、シビ・キハダの水揚げが多かった。

表1 1月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.9	0.9	0.0	0.6	2.3	0.8	4.6
クマガキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
沖サワラ	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.4
カツオ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	2.4	3.4
キハダ	5.1	3.6	0.2	2.3	11.2	5.2	21.2
シビ	5.5	2.7	0.4	1.1	9.7	11.5	25.7
メバチ	0.3	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	0.7
計	11.9	7.2	0.8	4.2	24.1	20.0	66.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

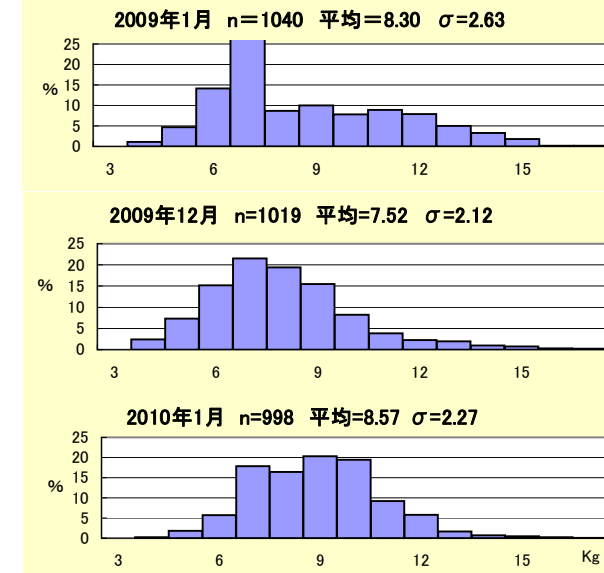


図3 糸満漁協のソデイカ重量(壺抜き)の頻度分布

図3は重量から作成した頻度分布(nは標本数、σは標準偏差)である。図4は県内のソデイカ漁獲量の推移と過去5カ年の平均を示す。1月に糸満漁協で水揚げされたソデイカの平均重量は8.57kgで、12月より1.05kg大きくなり、昨年1月の平均重量を0.27kg上回った。1月に漁獲されたソデイカは7~10kgのサイズが多く、昨年1月と比較すると7~10kgのサイズは多いが、12kg以上のサイズが少ない漁獲状況になっている(図3)。一方、今年の漁期始まって以来、県内のソデイカ水揚げ量は過去5カ年平均値に比べて低く推移している(図4)。



ヒブダイ(アーガイ)

糸満では、シビが5.5t、キハダ(10kg以上)が5.1t漁獲された。港川でキハダが3.6t、シビが2.7t、知念でシビが0.4t、キハダが0.2t、沖縄市でキハダが2.3t、シビが1.1t、伊良部でシビが11.5t、キハダが5.2t、漁獲された。(表1)

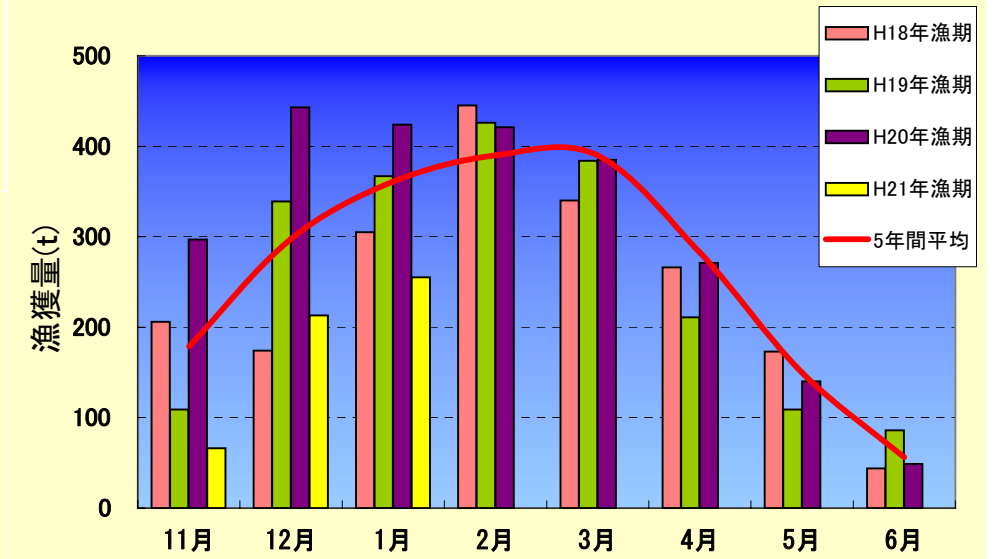


図4 ソデイカ月別漁獲量の推移

表3 1月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置				合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城	金武		
ミズン類	578.6	1.9	1.0	353.0	2,148.4	100.7	76.0	415.0	3,674.6	3,697.2
カマス	34.8	42.2	17.6	30.8	3.5	49.2	20.1	11.5	209.7	236.1
ヤマトガハ	101.4	37.0	0.0	2.0	0.8	2.5	0.0	0.0	143.7	143.7
ムロアジ	1.5	1,091.1	44.9	0.0	0.0	9.0	221.8	1.9	1,370.2	1,370.2
ガツン	1,293.6	104.1	132.4	263.5	0.0	67.7	17.5	175.2	2,054.0	2,054.8
ガーラ	59.5	73.7	3.0	0.0	6.8	54.1	16.2	2.6	215.9	262.0
グルクマ	0.0	11.1	0.0	255.9	0.0	138.4	26.6	218.0	650.0	652.0
カツオ類	30.8	51.6	27.0	35.8	0.0	69.3	42.7	65.0	322.2	322.2
タチウオ	26.0	54.5	0.0	0.0	0.8	4.2	0.3	0.0	85.8	87.8
アイゴ	10.4	42.2	1.0	0.0	2.1	36.1	63.5	1.0	156.3	309.0
合計	2,136.6	1,509.4	226.9	941.0	2,162.4	531.2	484.7	890.2	8,882.4	9,135.0

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

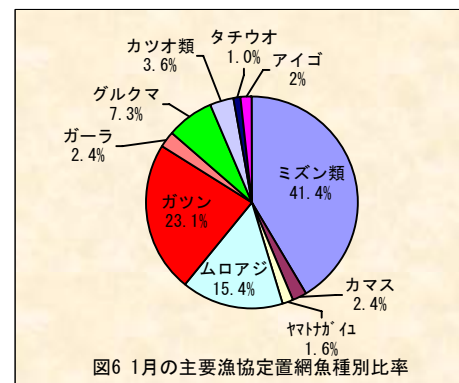


図6 1月の主要漁協定置網魚種別比率
定置網：1月の全体の漁獲状況は、9,135kgで先月(8,012.7kg)と比べ増加した。ミズン類の漁獲が41.4%、ガツンの漁獲が23.1%を占めた(表3、図6)。